

特許協力条約に基づく国際出願 国際予備審査請求書

第 II 章

出願人は、次の国際出願が特許協力条約に従って国際予備審査の対象とされることを請求し、
選択資格のある全ての国を選択する。ただし、特段の表示がある場合を除く。

国際予備審査機関記入欄

国際予備審査機関の確認

請求書の受理の日



第 I 欄 国際出願の表示		出願人又は代理人の書類記号 143375-027
国際出願番号 PCT/JP03/08609	国際出願日 (日. 月. 年) 07.07.03	優先日 (最先のもの) (日. 月. 年) 05.07.02
発明の名称 被処理体の酸化方法		
第 II 欄 出願人		
氏名 (名称) 及びあて名: (姓、名の順に記載; 法人は公式の完全な名称を記載; あて名は郵便番号及び国名も記載) 東京エレクトロン株式会社 TOKYO ELECTRON LIMITED 〒107-8481 日本国東京都港区赤坂五丁目 3 番 6 号 3-6, Akasaka 5-chome, Minato-ku, Tokyo 107-8481 Japan		電話番号: ファクシミリ番号: 加入電話番号: 出願人登録番号:
国籍 (国名): 日本国: JAPAN		住所 (国名): 日本国: JAPAN
氏名 (名称) 及びあて名: (姓、名の順に記載; 法人は公式の完全な名称を記載; あて名は郵便番号及び国名も記載) 西田 辰夫 NISHITA Tatsuo 〒107-8481 日本国東京都港区赤坂五丁目 3 番 6 号 東京エレクトロン株式会社内 c/o Tokyo Electron Limited, 3-6, Akasaka 5-chome, Minato-ku, Tokyo 107-8481 Japan		
国籍 (国名): 日本国: JAPAN		住所 (国名): 日本国: JAPAN
氏名 (名称) 及びあて名: (姓、名の順に記載; 法人は公式の完全な名称を記載; あて名は郵便番号及び国名も記載) 米川 司 YONEKAWA Tsukasa 〒107-8481 日本国東京都港区赤坂五丁目 3 番 6 号 東京エレクトロン株式会社内 c/o Tokyo Electron Limited, 3-6, Akasaka 5-chome, Minato-ku, Tokyo 107-8481 Japan		
国籍 (国名): 日本国: JAPAN		住所 (国名): 日本国: JAPAN
<input checked="" type="checkbox"/> その他の出願人が続葉に記載されている。		

第 II 欄の続き 出願人

この第 II 欄の続きを使用しないときは、この用紙を国際予備審査請求書に含めないこと。

氏名（名称）及びあて名：（姓、名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

鈴木 啓介 SUZUKI Keisuke
〒107-8481 日本国東京都港区赤坂五丁目 3 番 6 号
東京エレクトロン株式会社内
c/o Tokyo Electron Limited,
3-6, Akasaka 5-chome, Minato-ku, Tokyo 107-8481 Japan

国籍（国名）：日本国：JAPAN

住所（国名）：日本国：JAPAN

氏名（名称）及びあて名：（姓、名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

佐藤 享 SATO Toru
〒107-8481 日本国東京都港区赤坂五丁目 3 番 6 号
東京エレクトロン株式会社内
c/o Tokyo Electron Limited,
3-6, Akasaka 5-chome, Minato-ku, Tokyo 107-8481 Japan

国籍（国名）：日本国：JAPAN

住所（国名）：日本国：JAPAN

氏名（名称）及びあて名：（姓、名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

国籍（国名）：

住所（国名）：

氏名（名称）及びあて名：（姓、名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

国籍（国名）：

住所（国名）：



その他の出願人が他の続葉に記載されている。

第Ⅲ欄 代理人又は代表者、通知のあて名

下記に記載された者は、☒ 代理人 又は ☐ 代表者 として

☒ 既に選任された者であって、国際予備審査についても出願人を代理する者である。

☐ 今回新たに選任された者である。先に選任されていた代理人又は代表者は解任された。

☐ 既に選任された代理人又は代表者に加えて、特に国際予備審査機関に対する手続きのために、今回新たに選任された者である。

氏名（名称）及びあて名：（姓、名の順に記載；法人は公式の完全な名称を記載；あて名は郵便番号及び国名も記載）

(7581)弁理士 吉武 賢次 YOSHITAKE Kenji
〒100-0005 日本国東京都千代田区丸の内三丁目2番3号
富士ビル323号 協和特許法律事務所
Kyowa Patent & Law Office, Room 323, Fuji Bldg.,
2-3, Marunouchi 3-Chome, Chiyoda-Ku,
TOKYO 100-0005 Japan

電話番号：03-3211-2321

ファクシミリ番号：03-3211-1710

加入電信番号：

出願人登録番号：

☐ 通知のためのあて名：

代理人又は代表者が選任されておらず、上記枠内に特に通知が送付されるあて名を記載している場合は、レ印を付す。

第Ⅳ欄 国際予備審査に対する基本事項

補正に関する記述：*

1. 出願人は、次のものを基礎として国際予備審査を開始することを希望する。

☒ 出願時の国際出願を基礎とすること。

☐ 明細書に関して

☐ 出願時のものを基礎とすること。

☐ 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。

☐ 請求の範囲に関して

☐ 出願時のものを基礎とすること。

☐ 特許協力条約第19条の規定に基づいてなされた補正（添付した説明書も含む）を基礎とすること。

☐ 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。

☐ 図面に関して

☐ 出願時のものを基礎とすること。

☐ 特許協力条約第34条の規定に基づいてなされた補正を基礎とすること。

2. ☐ 出願人は、特許協力条約第19条の規定に基づく請求の範囲について行った補正を無視し、かつ、取り消されたものとみなして開始することを希望する。

3. ☐ 出願人は、国際予備審査の開始を優先日から20月の期間が満了するまで延期することを希望する（ただし、国際予備審査機関が、特許協力条約第19条の規定に基づき行われた補正書の写しの受領、又は当該補正を希望しない旨の出願人からの通知を受領した場合を除く（規則69.1(d)）。）
（この口は、特許協力条約第19条の規定に基づく期間が満了していない場合のみ、レ印を付すことができる。）。

*記入がない場合は、1)補正がないか又は国際予備審査機関が補正（原本又は写し）を受領していないときは、出願時の国際出願を基礎に予備審査が開始され、

2)国際予備審査機関が、見解書又は予備審査報告書の作成開始前に補正（原本又は写し）を受領したときは、これらの補正を考慮して予備審査が開始又は続行される。

国際予備審査を行うための言語は、日本語であり、

☒ 国際出願の提出時の言語である。

☐ 国際調査のために提出した翻訳文の言語である。

☐ 国際出願の公開の言語である。

☐ 国際予備審査の目的のために提出した翻訳文の言語である。

第Ⅴ欄 国の選択

出願人は、選択資格のある全ての指定国（即ち、既に出願人によって指定されており、かつ特許協力条約第Ⅱ章に拘束されている国）を選択する。
ただし、出願人は次の国の選択を希望しない。：

第Ⅵ欄 照合欄

この国際予備審査請求書には、国際予備審査のために、第Ⅳ欄に記載する官語による下記の書類が添付されている。

1. 国際出願の翻訳文..... 枚
2. 特許協力条約第34条の規定に基づく補正書..... 枚
3. 特許協力条約第19条の規定に基づく補正書
(又は、要求された場合は翻訳文)の写し..... 枚
4. 特許協力条約第19条の規定に基づく説明書
(又は、要求された場合は翻訳文)の写し..... 枚
5. 書簡..... 枚
6. その他(書類名を具体的に記載):..... 枚

国際予備審査機関
記入欄

受 領

未 受 領

☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐

この国際予備審査請求書には、さらに下記の書類が添付されている。

1. ☒ 手数料計算用紙
2. ☐ 個別の委任状の原本
3. ☒ 納付する手数料に相当する特許印紙を貼付した書面
4. ☒ 国際事務局の口座への振込を証明する書面
5. ☐ 記名押印(署名)の欠落についての説明書
6. ☐ コンピュータ読み取り可能な形式による配列表
7. ☐ その他(書類名を具体的に記載):

第Ⅶ欄 出願人、代理人又は代表者の記名押印

各人の氏名(名称)を記載し、その次に押印する。

吉武 賢次

国際予備審査機関記入欄

1. 国際予備審査請求書の実際の受理の日

2. 規則 60.1(b)の規定による国際予備審査請求書の受理の日の訂正後の日付

3. ☐ 優先日から19月を経過後の国際予備審査請求書の受理。
ただし、以下の4,5の項目にはあてはまらない。

☐ 出願人に通知した。

4. ☐ 規則80.5により延長が認められている優先日から19月の期間内の国際予備審査請求書の受理

5. ☐ 優先日から19月を経過後の国際予備審査請求書の受理であるが規則82により認められる。

国際事務局記入欄

国際予備審査請求書の国際予備審査機関からの受領の日: